

平成30年度 高校生のためのボランティア養成講座

～閉講式を終えて～

7月に開講した「平成30年度高校生のためのボランティア養成講座」も、3回の講義・実践を重ね、10月20日の閉講式をもって今年度の講座を終了しました。今年は、県北地区の6つの高等学校43名の高校生が参加し、障がいへの理解を深め、よりよい支援について知ってもらえる機会となりました。

最終回となった10月20日は本校の「太陽祭」であり、ステージ発表やスマイルマーケットの手伝いを通して、児童生徒と触れ合いました。参加した高校生からは、ボランティアで学んだことを今後の生活に生かしたいとの感想が寄せられました。ボランティア養成講座を受講された高校生の皆さんの、今後の活躍を期待します。

閉講式の様子



閉講式の様子



保科会長より認定証の贈呈



上野台実行委員長の挨拶



各校代表生徒の感想発表

参加者の感想より

○皆さんの笑顔を見ると、こちらまで笑顔になってしまう。今回参加してよかったと思うし、また参加したい。

○サポートするときのように声かけをすると分かりやすいのか、反応を見て探り探り作業を進めていくうちに、なるべく短くわかりやすい言葉で会話をすると、意思が伝わりやすかったです。今日の経験を、今後に生かしたいです。

○日ごろ体験のできないことを体験できたり、楽しく「ぱっくん」を売って全て完売ができ、良かったです。またこのような機会がありましたら、来たいと思います。

○みんなの頑張っているところが見られて、感動しました。スマイルマーケットでは、頑張って作った製品が完売し、みんなで喜びを味わうことができました。中学部の子と話すことができ良かったです。

○一人一人がしっかり声を出して呼びかけをしていたり、一生懸命演奏などをしている姿を見て、とても感動した。

○ステージ発表では、頑張っている姿から元気をもらいました。スマイルマークでは、「いらっしゃいませ。」「ありがとうございました。」の元気の良さがすごく印象に残っています。交流もできて、とても充実した一日でした。

○自分と同じ同級生であるのだなと感じた。障がいは「個性」と言われるが、その人の一部でしかないと思った。障がいをひとくくりで見えてはいけないことに気づくことができました。

○普通の学校でなくても、私たちとできることはほとんど変わらないと思いました。障害を持っていてもみんな一生懸命自分と向き合い、生きていくのは大変なことだと思います。それでも頑張っていく人を応援していきたいと思います。

○みなさん一生懸命、行事に取り組んでいて、すごいなあと思いました。いい思い出になるんだろうなあと思いました。

